

安部氏について

諏訪郡の出で、南北朝時代に諏訪神党として南朝方で戦ったが敗れ各地に散ったとされています。安部氏の祖は駿河国安部谷（静岡）に住み、安部氏を名乗りました。戦国時代は今川氏に属しましたが今川滅亡後、武田につく者の夜討ちにあい、家康につきました。そして、家康の東遠州進出に貢献しました。安部を名字としたが、伊賀の安部氏と呼び分けるために安部としたようです。安部家は、全国でも珍しく一度の移封もなく幕末まで続き、岡部を藩の本拠としました。

- 初代 元真 もとざね 1567年（永禄11）家康に従う
- 2代 信勝 小牧・長久手の戦いで功あり。家康に従い関東へ
1590年（天正18）上野で5250石を受領（武州岡部：埼玉）
- 3代 信盛 のぶもり 二条城番，大阪城代を勤めた功あり
1636年（寛永13）八名郡の地4千石加増される
1649年（慶安2）摂津で1万石加増され大名格となり岡部藩をおこす。定府大名（城なし大名で江戸に定詰）
妻は家康の姪 嫁ぐ際、越後小千谷で8万石を多胡姫の化粧料として賜ることになったが、此を断ったという話がある
人心をまとめるため、真言宗の浄流寺じょうりゅうじを建立
次男、信孝のぶのりの死を哀れみ、洞雲寺に改める
- 4代 信之 のぶゆき 1662年（寛文2）相続 1668年（寛文8）三河で3千石加増
- 5代 信友 のぶとも 1678年（延宝6）相続
- 6代 信峯 のぶみね 1701年（元禄14）相続
1705年（宝永2）安部氏居所を岡部に定める
- 7代 信賢 のぶかた 1706年（宝永3）相続
- 8代 信平 のぶひら 1723年（享保8）相続
- 9代 信允 のぶちか 1750年（寛延3）相続
- 10代 信亨 のぶみち 1782年（天明2）相続
- 11代 信操 のぶもち 1806年（文化3）相続
- 12代 信任 のぶより 1825年（文政8）相続
- 13代 信古 のぶひさ 1828年（文政11）相続
- 14代 信宝 のぶたか 1842年（天宝13）相続
- 15代 信発 のぶおき 1863年（文久3）相続
1868年（慶応4）岡部から半原に移り **半原藩と改称**
1871年（明治4）廃藩置県 半原藩知事免官

<安部領5か国>	※陣屋
※・三河半原	8千石
・丹波	2千石
※・摂津桜井谷（大阪）	7千石
※・武蔵国岡部（埼玉）	4千3百石
・上野	870石
合計	2万252石
陣屋に代官を置き，少人数で行政	